

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	おおすみ児童発達支援センター				公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・スペースが適切であり過ごしやすい。 ・スペースは十分な広さがある。 ・活動で部屋と人数を事前に分けている。	・クールダウンの部屋や小さな部屋がもう少しあるとより良いと思う。 ・クールダウン室がなく対応に困ることがある。 →更衣室や簡易テントを使用し様子を見る。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員の休みが多い時は応援という形で人員確保できるのが良い。	・人手不足を感じる。 ・スタッフ確保の検討も必要になってくる。 →基準人員+加配人員の確保はできている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			ドアと取手、コンセントカバーはR8年度修理予定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除を行っている。	・雨天時に運動遊びがあった時、運動ができるくらいの広い部屋がほしい。 →2階の大部屋でトランポリンを行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・崩れた時のクールダウンの部屋として更衣室や右奥の部屋を使用している。 ・臨機応変に対応できている。	・個別の部屋がないのが現状。 →R10年度に部屋の増設に向けて着工予定。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・振り返りを必ず翌日に行っている。休みの職員も見返せるようノートに記録している。 ・全員で行うことは難しいが、担当職員や出勤職員で話をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表の意見を参考に改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティング等で意見交換の場を設けている。今後どうするかまで話し合うこともできている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・外部評価が行われているかわからない。 →評価機関での評価は予算の都合上行っていないが、監事監査を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・毎月交代でスキルアップ研修を受講している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・課題やニーズを分析し、計画作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域を盛り込んで計画を作成している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・リーダーが主となり立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・日々異なる活動を取り入れている。 ・日によって内容を変えて、子供達に合った活動になるよう考えている。 ・日替わりで内容を変更している。 ・子供たちが飽きがこないよう、さまざまな活動を組み込んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日のリーダーが活動中に起こることを事前に想定し、職員間で役割分担できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日ではないが、次の日に振り返りできている。急を要する事柄はその日に共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・複数組み合わせ合わせて支援できている ・地域交流は図書館等の公共施設を利用している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・選択肢を適宜提示している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・研修に参加した際、ネットワークが大事との話も出ていた。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当なし	該当なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・当センターの役割となっている。 ・いろいろな研修の案内がある。 ・霧島にある児童発達支援センターへ行き施設見学をさせていただき意見交換した。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・昨年10月に放課後児童クラブを含めた秋祭りがあったが、時間帯が分かれていたため子供同士の交流には至らなかった。 →R8年度に寿学童育成クラブと合同での活動を検討。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・年に1回あるこども部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・その日の送迎時に保護者に話ができています。 ・送りの際等に、フィードバック出来ていると思う。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・今現在行われていない。 →R8年度にペアレント・トレーニングの研修を受講予定。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・センターにライン等で連絡がくるので保護者には寄り添えていると思う。 ・送迎などで相談を受けた際に管理者へ報告をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者会は実施していないが、秋祭り等で家族と交流できている。	・保護者会の開催がなかった。 →R8年度に保護者会を開催予定。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・毎日振り返りをしているので、苦情などの共有はきちんとできていると思う。 ・管理者へ報告し対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月おたよりや活動の様子などを発信している。 ・おたよりを通して共有できている。 ・ラインを活用し、行えていると思う。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・地域住民との交流はない。 →R8年度の総合避難訓練を寿敬心保育園と合同で行い、自治会長に参加を求める予定。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・マニュアルを職員にも共有すれば、相談等あった際に対処できると思う。 →事務所内に各種マニュアルを置いているので、各自確認をする ・家族への周知はできているかわからない。 →契約時にマニュアルの有無を伝えている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当なし	該当なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ノートに記入し、全体で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				